

水性エポキシ樹脂系下地調整材

MK 水性エポパテ

(2液型)

用途

フッ素樹脂塗料・シリコン樹脂塗料等高級塗料の鏡面仕上用下地調整材

特長

付着性……極めて良好です。

作業性……ヘラさばき、ペーパーとぎ、主剤、硬化剤の攪拌性ともに良好です。

造膜性……低温時（5℃）の造膜性が優れています。

適応下地

金ゴテ仕上面、打放し面、PC板、各種外壁対応型板材

乾燥(硬化)時間

35℃……2.5H 20℃……8H

5℃……24H（1mm厚）

容量・荷姿

6kgセット

（主剤3kg：硬化剤3kg）・丸缶

3kgセット

（主剤1.5kg：硬化剤1.5kg）・丸缶



 **メーコー株式会社**

MK 水性エポパテ

性能試験表

試験項目	試験結果	備考
耐水性	14日間異常なし	(素地・フレキシブル板、フッ素仕上)
耐温水性	〃	50°C温水
耐アルカリ性①	〃	飽和Ca(OH) ₂ 水溶液
耐アルカリ性②	〃	5%Na ₂ CO ₃ 水溶液
(一次付着性基盤目テープ法)		JIS K5400に準ずる
耐水後	10点	(2mm基盤目)
耐温水後	〃	
耐アルカリ後①	〃	
耐アルカリ後②	〃	
(付着強さ)		JIS A6910による
標準状態	22.7kgf/cm ²	破壊状態は全者モルタル板の破壊
浸水後	21.7kgf/cm ²	
温冷くり返し後	22.1kgf/cm ²	
温冷くり返し後の状態	10サイクル異常なし	

(試験板の塗装工程……専用プライマー+MKエポパテ+専用プライマー+フッ素樹脂塗料2回塗り)

標準施工仕様

工程	材料名	配合比	希釈率	可使時間	塗装間隔	塗装方法
素地調整	油分、汚れ、粉分等を除去し、深さ1mm以上のジャンカ不陸は、樹脂モルタル等で調整する。					
プライマー	上塗り塗料メーカーの指定するプライマーを仕様にに基づき塗布する。					
パテ	MK 水性エポパテ	主剤：硬化剤 1：1	水道水 0～3%	夏期0.5H 冬期1.5H	乾燥時間 の項参照	1回塗り厚1mm 以内へラ付け
研磨	#180～#320サンドペーパーで平滑になるように研磨する。					
プライマー	上塗り塗料メーカーの指定するプライマーを仕様にに基づき塗布する。					
上塗り	メーカーの仕様による。					

施工上のご注意

1. 主剤と硬化剤を混合攪拌する時には色が均一になるまで十分に練り混ぜて下さい。
2. 冬期（低温時）は粘度が上がりますので必要に応じて3%以内の水道水で粘度調整して下さい。
3. 1回の塗り厚は1mm以内にして下さい。
4. 5°C以下での施工はさけて下さい。（5°Cの場合は24時間で硬化しますが、5°C以下ですと硬化が非常におそくなります。特に冬期の施工では次の工程に入る前に硬化を確認して下さい。）
5. 研磨をした場合、粉分は十分除去して下さい。

特約店



営業本部 〒202 東京都保谷市柳沢2-19-15 TEL(0424)68-5111(代) FAX(0424)68-5110
北陸営業所 〒938 富山県黒部市牧野185 TEL(0765)54-2501 FAX(0765)54-2501
本社 〒189 東京都東村山市久米川町5-33-11 TEL(0423)93-2345(代) FAX(0423)95-3253